(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2018-104069
(P2018-104069A)
(43)公開日　平成30年7月5日(2018.7.5)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
B65D 73/00	(2006.01)	B65D	73/00	L	3E067
		B65D	73/00	D	

審査請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 13 頁）

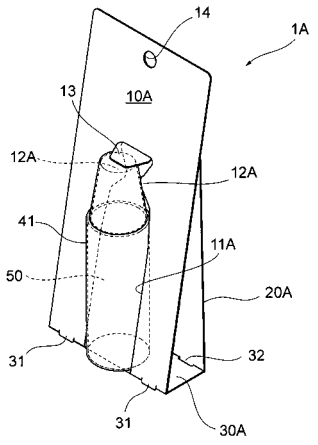
(21)出願番号　特願2016-255048 (P2016-255048)
(22)出願日　平成28年12月28日 (2016.12.28)

(71)出願人　000002897
大日本印刷株式会社
東京都新宿区市谷加賀町一丁目１番１号
(74)代理人　110001830
東京ＵＩＴ国際特許業務法人
(72)発明者　杉山　有二
東京都新宿区市谷加賀町一丁目１番１号
大日本印刷株式会社内

Ｆターム(参考)　3E067 AA22 AC01 BA01A BA15A BA20A
BB01A BC04A CA01 EA01 EA23
EE15 EE40 FA01 FC04 GD10

(54)【発明の名称】台紙付包装体

(57)【要約】　（修正有）
【課題】包装された商品を，台紙から大きく突出させることができる台紙付包装体を提供する。
【解決手段】台紙付包装体は，前後方向に対向するように設けられる前面部10Ａおよび後面部20Ａと，前面部10Ａと後面部20Ａとの間に設けられかつ固定された，商品50を包装する筒状シュリンクフィルム41を備え，シュリンクフィルム41は熱収縮によって商品50の表面にピッタリと貼り付いている。前面部10Ａに，商品50に対応する形を有しており，かつ商品50の一部を外に露出させる大きさの商品窓11Ａがあけられている。商品窓11Ａの窓枠には，商品50の輪郭よりも内側にせり出したせり出し部分12Ａが連設されており，せり出し部分12Ａが商品50の裏側に押し込まれている。
【選択図】図３



【特許請求の範囲】
【請求項１】
前後方向に対向して設けられる前面部および後面部と，
上記前面部と上記後面部との間に設けられかつ固定された，商品を包装する商品包装体とを備え，
上記前面部に，商品が包装された商品包装体に対応する形を有しており，かつ上記商品包装体の少なくとも一部を外に露出させる大きさの商品窓があけられており，
上記商品窓の窓枠に，商品窓内に向かって上記商品包装体の輪郭よりも内側まで部分的にせり出すせり出し部分が連設されている，
台紙付包装体。
【請求項２】
上記前面部および上記後面部が折り線を介して連設されている，
請求項１に記載の台紙付包装体。
【請求項３】
上記商品窓の下縁が上記前面部の下縁に位置している，
請求項１または２に記載の台紙付包装体。
【請求項４】
上記前面部の下縁および上記後面部の下縁に折り線を介して底面部が連設されている，
請求項１から３のいずれか一項に記載の台紙付包装体。
【請求項５】
上記前面部と上記後面部を対向させた状態を保持するための保持機構を備えている，
請求項１から４のいずれか一項に記載の台紙付包装体。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
この発明は，フィルム等によって包装された商品と台紙とが一体化された台紙付包装体に関する。
【背景技術】
【０００２】
商品を台紙に固定し，商品と台紙とを一体にした状態で商品を陳列することがある。台紙表面には，台紙に固定される商品の商品名，商品の特徴等が印刷され，さらには色とりどりの彩色が施される。
【０００３】
特許文献１には，筒状シュリンクフィルムによって包装された商品を台紙表面に接着固定した包装体が記載されている。台紙表面に塗布される接着剤によって台紙表面に筒状シュリンクフィルムが貼着される。筒状シュリンクフィルムを介して商品が台紙表面に固定される。
【０００４】
印刷の発色を良好とするために台紙表面には一般に塗料がコートされる。このため，台紙裏面に比べて台紙表面は高い接着強度の確保が難しい。
【０００５】
特許文献２は，表シートと裏シートとを備え，表シートに窓部を形成した包装体を記載する。表シートと裏シートの間にブリスターパックが固定され，ブリスターパックの収納凸部が窓部の外に突出する。塗料コートを要しない表シートないし裏シートの内側（裏面）にブリスターパックを固定することができるので，比較的高い接着強度を確保することができる。
【０００６】
しかしながら，表シートに形成された窓部から商品（ブリスターパックの凸部）を突出させたときに，表シート（窓枠）によって隠れる商品範囲が発生し，商品の外形が確認しづらくなる。

【先行技術文献】
【特許文献】
【０００７】
【特許文献１】特開平８－２４４８３２号公報
【特許文献２】特開２０１２－２２９０４５号公報
【発明の開示】
【０００８】
この発明は，包装商品を台紙（商品窓）から大きく突出させることができる台紙付包装体を提供することを目的とする。
【０００９】
この発明による台紙付包装体は，前後方向に対向して設けられる前面部および後面部と，上記前面部と上記後面部との間に設けられかつ固定された，商品を包装する商品包装体とを備え，上記前面部に，商品が包装された商品包装体に対応する形を有しており，かつ上記商品包装体の少なくとも一部を外に露出させる大きさの商品窓があけられており，上記商品窓の窓枠に，商品窓内に向かって上記商品包装体の輪郭よりも内側まで部分的にせり出すせり出し部分が連設されていることを特徴とする。
【００１０】
商品包装体は，商品の表面を覆い，商品を保護するためのもので，商品の表面に密着するフィルムおよび商品を収納する凸状部分を備えるブリスターパックを含む。台紙付包装体は，前後方向に対向するように設けられる前面部および後面部を備え，商品包装体は上記前面部および後面部との間に設けられかつ固定される。前面部と後面部の間，すなわち前面部の裏面（内面）がわないし後面部の裏面（内面）がわに商品包装体を固定することができるので，塗料がコートされる前面部ないし後面部の表面（外面）に固定する場合に比べて，商品包装体を前面部と後面部との間にしっかりと固定することができる。
【００１１】
一実施態様では，上記前面部および上記後面部が折り線を介して連設されている。前面部と後面部とはこれらの側縁部において連設させておいてもよいし，前面部の下縁部に後面部を連設させてもよい。前面部の裏面と後面部の裏面とが対向するように連設縁部（折り線）において台紙が折られる。商品包装体によって覆われ，商品包装体を介して前面部と後面部の間に固定された商品は，台紙を折ったときに前面部にあけられた商品窓を通して商品窓の外に露出する。
【００１２】
この発明によると，上記前面部に，商品が包装された商品包装体に対応する形を有しており，かつ上記商品包装体の少なくとも一部を外に露出させる大きさの商品窓があけられており，上記商品窓の窓枠に，商品窓内に向かって上記商品包装体の輪郭よりも内側まで部分的にせり出すせり出し部分が連設されている。せり出し部分が商品包装体の輪郭よりも内側までせり出しているので，前面部にあけられた商品窓に商品包装体を通すときに一旦引っかかりを生じさせるが，せり出し部分は上記商品窓の窓枠に部分的に連設されたものであるから，後面がわに向けて押し込むことができ，押し込まれたせり出し部分を商品包装体の裏側に位置させることができる。せり出し部分は窓枠（前面部）と連設されているので，商品包装体の裏側に前面部を位置させることができ，したがって商品包装体を前面部にあけられた商品窓から外に大きく突出させ，その状態を維持することができる。
【００１３】
台紙付包装体によって包装される商品が柔らかい容器であれば，容器に一時的生じる凹みを利用して，せり出し部分を商品包装体の裏側に至らせることもできる。
【００１４】
一実施態様では，上記商品窓の下縁が上記前面部の下縁に位置している。商品窓から外に突出する商品の底面を用いて包装体を自立させることができる。
【００１５】
他の実施態様では，上記前面部の下縁および上記後面部の下縁に底面部が連設されてい

る。底面部を用いて包装体を安定して自立させることができる。
【００１６】
好ましい実施態様では，上記前面部と上記後面部とを対向させた状態を保持するための保持機構を備えている。保持機構は，接着剤，テープ等を用いて，または差込み片を用いた係合等によって達成される。
【図面の簡単な説明】
【００１７】
【図１】第１実施例の台紙付包装体を構成する台紙の展開図および筒状シュリンクフィルムを示す。
【図２】台紙付包装体の製造工程を示す。
【図３】台紙付包装体の斜視図である。
【図４】台紙付包装体の正面図である。
【図５】台紙付包装体の右側面図である。
【図６】第２実施例の台紙付包装体を構成する台紙の展開図および筒状シュリンクフィルムを示す。
【図７】第２実施例の台紙付包装体の斜視図である。
【図８】第２実施例の台紙付包装体の背面図である。
【図９】第３実施例の台紙付包装体を構成する台紙の展開図および筒状シュリンクフィルムを示す。
【図１０】第３実施例の台紙付包装体の斜視図である。
【図１１】第４実施例の台紙付包装体を構成する台紙の展開図および筒状シュリンクフィルムを示す。
【図１２】第４実施例の台紙付包装体の斜視図である。
【図１３】第４実施例の台紙付包装体の正面図である。
【図１４】第４実施例の台紙付包装体の背面図である。
【実施例】
【００１８】
（１）第１実施例（図１から図５）
図１から図５を参照して第１実施例の台紙付包装体を説明する。第１実施例の台紙付包装体は，台紙１Ａと筒状シュリンクフィルム41とを含む。図１は台紙１Ａの型紙（ブランク図，展開図）を，台紙１Ａに接着された筒状シュリンクフィルム41とともに示している。図２は台紙付包装体の製造工程を示している。図３から図５は，完成した台紙付包装体を正面（前面）がわから見た斜視図，正面図，右側面図をそれぞれ示している。
【００１９】
図１を参照して，図１は台紙１Ａの型紙を裏面がわ（内面がわ）から示している。
【００２０】
台紙１Ａは１枚の厚紙から構成される。厚紙に代えてボール紙，板紙，ミルクカートン用紙，画用紙，ケント紙，段ボール等を用いてもよく，いわゆる合成紙（積層紙），複合紙でも，各種プラスチックを積層（たとえば表面にラミネート）したものを用いてもよい。
【００２１】
台紙１Ａは，折り線Ｌ１，Ｌ２を介して上下方向に連設された矩形の前面部10Ａ，底面部30Ａ，および後面部20Ａを備えている。前面部10Ａおよび後面部20Ａは上下方向に長く，底面部30Ａは左右方向に長い。折り線Ｌ１，Ｌ２は台紙を折りやすくするために形成されるもので，押罫または折罫，ハーフカット，ミシン目等が，折り線Ｌ１，Ｌ２に沿って適宜形成される。
【００２２】
前面部10Ａに縦長の商品窓11Ａがあけられている。商品窓11Ａはその下縁（下辺）が折り線Ｌ１に沿って形成されている。後述するように，前面部10Ａにあけられた商品窓11Ａを通して，シュリンクフィルムによって包装された商品が前面部10Ａの前方外側に突出（

露出）する。

【００２３】

商品窓11Ａは，包装される商品の正面がわの形状に応じた，好ましくはほぼ合致した形状を持ち，その大きさも包装される商品の大きさに応じたものとされるが，その一部に，包装される商品の大きさ（輪郭）よりも小さい（狭い）部分がつくられる。第１実施例では，商品窓11Ａの上部両側の窓枠に，商品窓11Ａ内に向けてせり出す一対のせり出し片12Ａが形成されており，この一対のせり出し片12Ａによって商品窓11Ａの一部の幅が狭められている。せり出し片12Ａは，商品窓11Ａ内に向かう向きに先細の概略三角形の形状を有しており，先細の先端と反対側（三角形の底辺）が折り線Ｌ４を介して前面部10Ａとつながっている。

【００２４】

また，商品窓11Ａの上部は，図１に示す展開図において，折り線Ｌ３を介して前面部10Ａにつながる概略台形の屋根部13によって閉じられている。後述するように，包装体が組み立てられるときに，屋根部13は商品窓11Ａに通される商品によって前方に押され，商品の頭部（頂部）上に被さるようにして用いられる。

【００２５】

後面部20Ａの裏面に，透明または半透明の筒状シュリンクフィルム41が接着剤Ｎによって接着されている。筒状シュリンクフィルム41には，ポリ塩化ビニル，ポリプロピレン，ポリエチレン，ポリスチレン，ポリオレフィン，ポリエチレンテレフタレートその他の熱収縮を生じる素材が用いられる。筒状シュリンクフィルム41内に商品を入れ，その後に筒状シュリンクフィルム41に熱を加えることで熱収縮が生じ，筒状シュリンクフィルム41は商品表面に密着する。筒状シュリンクフィルム41は接着剤Ｎによって後面部20Ａの裏面に接着されているので，商品は筒状シュリンクフィルム41を介して台紙１Ａ（台紙１Ａの後面部20Ａの裏面）に固定されることになる。

【００２６】

前面部10Ａと後面部20Ａとの間に底面部30Ａが位置している。前面部10Ａと底面部30Ａの境界には切り込みによって脚部用小突片31が間隔をあけて形成されている。後面部20Ａと底面部30Ａとの境界にも切り込みによって脚部用小突片32が形成されている。

【００２７】

前面部10Ａの商品窓11Ａの上方の枠部に円形のフック孔14があけられている。フック孔14は，フックを用いて台紙付包装体を店舗等において陳列するために用いられる。

【００２８】

図２を参照して，上述したように，台紙１Ａの後面部20Ａの裏面に接着剤Ｎが塗布され，接着剤Ｎによって筒状シュリンクフィルム41が後面部20Ａの裏面に接着される。接着剤Ｎは，前面部10Ａと後面部20Ａとを向かい合わせたときに前面部10Ａに形成された商品窓11Ａに対応する位置に塗布される。接着剤Ｎによって台紙１Ａの後面部20Ａの裏面に接着された筒状シュリンクフィルム41内に商品50が挿入される。筒状シュリンクフィルム41を熱収縮させると，熱収縮した筒状シュリンクフィルム41は商品50の表面に密着し，商品50のほぼ全体が筒状シュリンクフィルム41によって覆われる。筒状シュリンクフィルム41を介して商品50は後面部20Ａの裏面に固定される。

【００２９】

図３～図５を参照して，折り線Ｌ１，Ｌ２に沿って台紙１Ａを折り，前面部10Ａの裏面と後面部20Ａの裏面とを向かい合わせる。後面部20Ａはほぼ直角に折り曲げ，前面部10Ａは直角を超える角度まで折り曲げる。底面部30Ａの後端から後面部20Ａがほぼ垂直に起立し，底面部30Ａの前端から前面部10Ａが後方にやや斜めに起立する形態が形成される。前面部10Ａの下端には脚部用小突片31が，後面部20Ａの下端には脚部用小突片32が，それぞれ下向きにわずかに突出する。台紙１Ａの下部に向かうほど前面部10Ａと後面部20Ａとの間に間隔があくので，包装体を安定して自立させることができる。

【００３０】

前面部10Ａと後面部20Ａとを向かい合わせる途中，筒状シュリンクフィルム41によって

覆われて後面部20Ａの裏面に固定された商品50は，前面部10Ａにあけられた商品窓11Ａを潜り，前面部10Ａの外に突出する。商品窓11Ａの上端の屋根部13は商品50によって押されることで折り線Ｌ３において折られて前方に突き出し，商品50の頭部上に載る。

【００３１】

上述したように，商品窓11Ａの上部両側には，商品窓11Ａ内に向けてせり出す一対のせり出し片12Ａが形成されており，せり出し片12Ａが形成されている部分の商品窓11Ａの幅は商品50の輪郭（最大幅）よりも狭くなっている。このため，商品50を商品窓11Ａに潜らせると，せり出し片12Ａは商品50によって前方に押される。前方に押された一対のせり出し片12Ａを後面部20Ａの向きに押し込むと，せり出し片12Ａは商品50の裏側に潜り込む。台紙１Ａにシュリンク包装された商品50が固定された台紙付包装体の組立てが完成する。

【００３２】

せり出し片12Ａは前面部10Ａと連続しているので，せり出し片12Ａを商品50の裏側に潜り込ませることで，せり出し片12Ａが形成されている箇所（第１実施例では商品50の上部）では，前面部10Ａを商品50の裏側に位置させることができ，商品50のほぼ全体が前面部10Ａよりも前に位置し，したがって商品窓11Ａから商品50を前方に大きく突出させ，その状態を維持することができる。商品50の全体形状が視認しやすくなり，ディスプレー効果が高められる。また，せり出し片12Ａによって商品50が背面がわから支えられるので，商品50の包装体内側への戻りも防止される。さらに，せり出し片12Ａが前面部10Ａにつながっているので，商品50の裏側にせり出し片12Ａを潜り込ませることで，接着剤等によって接着しなくても，前面部10Ａと後面部20Ａを対向させた状態を維持することができる。

【００３３】

（２）第２実施例（図６から図８）

図６から図８は第２実施例を示すもので，図６は第２実施例の台紙付包装体を構成する台紙１Ｂの裏面を，台紙１Ｂに接着された筒状シュリンクフィルム41とともに示している。図７は第２実施例の台紙付包装体を前面がわから見た斜視図を示している。図８は第２実施例の台紙付包装体の背面図である。

【００３４】

図６を参照して，台紙１Ｂに底面部が設けられていない点が，第１実施例の台紙１Ａと異なる。折り線Ｌ１を介して前面部10Ｂと後面部20Ｂとが上下方向に連設されている。前面部10Ｂに商品窓11Ｂが形成され，後面部20Ｂの裏面には接着剤Ｎによって筒状シュリンクフィルム41が接着されている。

【００３５】

また，第２実施例の台紙１Ｂは，前面部10Ｂにあけられた商品窓11Ｂの上端窓枠に，商品窓11Ｂ内に向かうせり出し片12Ｂが形成されており，せり出し片12Ｂによって商品窓11Ｂの高さが商品51の高さよりも低くされている。

【００３６】

第１実施例と同様に，後面部20Ｂの裏面に接着剤Ｎによって接着された筒状シュリンクフィルム41内に商品51を挿入し，筒状シュリンクフィルム41に熱を加えることで筒状シュリンクフィルム41を収縮させる。熱収縮した筒状シュリンクフィルム41は商品51の表面に密着し，商品51のほぼ全体が筒状シュリンクフィルム41によって覆われる。商品51は筒状シュリンクフィルム41を介して後面部20Ｂの裏面に固定される。

【００３７】

図７および図８を参照して，折り線Ｌ１に沿って台紙１Ｂを折り，前面部10Ｂの裏面と後面部20Ｂの裏面とを向かい合わせる。向かい合わせる途中，筒状シュリンクフィルム41によって覆われて後面部20Ｂの裏面に固定された商品51は，前面部10Ｂにあけられた商品窓11Ｂを潜り，前面部10Ｂの外に突出する。せり出し片12Ｂによって商品窓11Ｂの高さが商品51の高さよりも低くされているので，商品51を商品窓11Ｂに潜らせると，せり出し片12Ｂは商品51によって前方に押される。前方に押されたせり出し片12Ｂを後面部20Ｂの向きに押し込み，後面部20Ｂの裏側にまで至らせる。せり出し片12Ｂは後面部20Ｂの縁部にかけられ，これによって前面部10Ｂと後面部20Ｂとを向かい合わせた状態が保持される。

台紙１Ｂにシュリンク包装された商品51が固定された台紙付包装体の組立てが完成する。せり出し片12Ｂは，後面部20Ｂの裏側ではなく，商品51の裏側（商品51と後面部20Ｂの間）に位置させてもよい。

【００３８】

第２実施例では商品51のほぼ全体が前面部10Ｂよりも前に位置するので，商品51のほぼ全体の形状を確認することができ，ディスプレー効果が高い。また，第２実施例においても，接着剤等を用いて接着しなくても，前面部10Ｂと後面部20Ｂを対向させた状態を維持することができる。

【００３９】

（３）第３実施例（図９および図１０）

図９および図１０は第３実施例を示すもので，図９は第３実施例の台紙付包装体を構成する台紙１Ｃの裏面を，台紙に接着された筒状シュリンクフィルム41とともに示している。図１０は第４実施例の台紙付包装体の斜視図である。

【００４０】

台紙１Ｃは，中央に位置する前面部10Ｃと，その左右の両側縁に折り線Ｌ１，Ｌ２を介してそれぞれ連設された第１，第２の後面部20Ｃ１，20Ｃ２を備えている。前面部10Ｃに商品窓11Ｃがあけられている。商品窓11Ｃの上部の左右の両側縁に，商品窓11Ｃ内に向かって商品窓11Ｃの一部の幅を狭めるせり出し片12Ｃが，窓枠（前面部10Ｃ）に連続して形成されている。商品窓11Ｃは，その上部は商品52の輪郭（前面投影形状）よりも少し大きくあけられているが，下部については商品52の輪郭よりも少し小さくあけられている。

【００４１】

前面部10Ｃの右側縁につながる第１後面部20Ｃ１の裏面に，接着剤Ｎによって筒状シュリンクフィルム41が接着されている。筒状シュリンクフィルム41の内部に商品52を入れ，その後に筒状シュリンクフィルム41に熱を加える。商品52は，筒状シュリンクフィルム41を介して第１後面部20Ｃ１の裏面に固定される。

【００４２】

前面部10Ｃの商品窓11Ｃの上方の枠部に円形のフック孔14があけられている。第１，第２後面部20Ｃ１，20Ｃ２の上部にもそれぞれ円形のフック孔26ａ，26ｂがあけられており，折り線Ｌ１，Ｌ２の位置で台紙１Ｃが折られると，これらの３つのフック孔14，26ａ，26ｂが重なり合う。

【００４３】

折り線Ｌ１に沿って第１後面部20Ｃ１を折り返し，次に折り線Ｌ２に沿って第２後面部20Ｃ２を折り返す。第１後面部20Ｃ１の裏面に筒状シュリンクフィルム41によって接着された商品53を前面部10Ｃの商品窓11Ｃに潜らせる。

【００４４】

前面部10Ｃの左側縁につながる第２後面部20Ｃ２の側縁に，差込み片71が側方に突出して連設されており，前面部10Ｃの右側縁につながる第１後面部20Ｃ１には，上記差込み片71を差し込むための切り込みＫ１が形成されている。差込み片71の両端には互いに反対向きにのびる係合突出片71ａ，71ｂが形成されており，この係合突出片71ａ，71ｂが切り込みＫ１に引っ掛かることで，折り線Ｌ１に沿って折り返される第１後面部20Ｃ１と，折り線Ｌ２に沿って折り返される第２後面部20Ｃ２上とを重ね合わせて前面部10Ｃに対向させた状態を保持することができる。

【００４５】

商品52を商品窓11Ｃに潜らせるとき，せり出し片12Ｃが商品52によって前方に押される。前方に押されたせり出し片12Ｃを第１，第２の後面部20Ｃ１，20Ｃ２の向きに押し込み，商品52の裏側に潜り込ませる。せり出し片12Ｃが形成されている箇所では商品52の大部分が前面部10Ｃよりも前に位置することになり，商品窓11Ｃから商品52を大きく突出させることができる。

【００４６】

また，上述したように，商品窓11Ｃは，その下部については商品52の輪郭よりも少し小

さくあけられているので，台紙１Ｃの下部に向かうほど商品窓11Ｃからの商品52の突出量が小さくなり，台紙１Ｃの下部に向かうほど，前面部10Ｃと第１，第２後面部20Ｃ１，20Ｃ２との間に大きな間隔があくことになる。前面部10Ｃの下縁と第１，第２後面部20Ｃ１，20Ｃ２の下縁とが，下部に向うほど前後方向に大きく離間するので，台紙付包装体を安定して自立させることができる。

【００４７】

（４）第４実施例（図１１から図１４）

図１１から図１４は第４実施例を示すもので，図１１は第４実施例の台紙付包装体を構成する台紙１Ｄの展開図の裏面を，接着剤Ｎによって台紙１Ｄの裏面に接着されたフィルム42とともに示している。図１２，図１３，図１４は，第４実施例の台紙付包装体を前面がわから見た斜視図，正面図，背面図をそれぞれ示している。

【００４８】

台紙１Ｄは，商品窓11Ｄがあけられた縦長の矩形の前面部10Ｄと，前面部10Ｄの上縁に折り線Ｌ１を介して連設された第１後面部20Ｄ１と，前面部10Ｄの下縁に折り線Ｌ２を介して連設された第２後面部20Ｄ２と，前面部10Ｄの左右の側縁に折り線Ｌ３，Ｌ４を介してそれぞれ連設された，互いに反対方向にのびる折り片15Ｌ，15Ｒとを備えている。

【００４９】

前面部10Ｄにあけられた商品窓11Ｄの両側縁が商品窓11Ｄ内に向けてわずかに湾曲してせり出しており，商品窓11Ｄの幅を狭めている。商品窓11Ｄの幅を狭める部分をせり出し部12Ｄと呼ぶ。また，図１１に示す展開図において，商品窓11Ｄの下部は折り線Ｌ７を介して前面部10Ｄにつながる一対の脚部片33によって閉じられている。後述するように，包装体が組み立てられると一対の脚部片33は商品によって前方に押されることになる。商品窓11Ｄの下縁（下辺）は折り線Ｌ２（前面部10Ｄの下縁）に沿っている。

【００５０】

前面部10Ｄの上縁に折り線Ｌ１を介して連設された第１後面部20Ｄ１に円形のフック孔26があけられている。フック孔26は，折り線Ｌ１において第１後面部20Ｃ１を折り返したときに前面部10Ｄにあけられたフック孔14と重なる位置にあけられている。

【００５１】

第１後面部20Ｄ１の上端に，弧状のミシン目Ｋ１を介して差し込み片27が連設されている。差し込み片27は，後述する第２後面部20Ｄ２の内側に差し込まれて，第１後面部20Ｄ１の折り返し状態を保持するために用いられる。第２後面部20Ｄ２の内側に差し込まれたときの係合のために，差し込み片27の両端には互いに反対向きにのびる係合突出片27ａが形成されている。

【００５２】

前面部10Ｄの下縁に折り線Ｌ２を介して連設された第２後面部20Ｄ２の折り線Ｌ２に近い位置の両側縁に，折り線Ｌ５，Ｌ６を介して互いに反対方向にのびる補強片25Ｌ，25Ｒが設けられている。また，第２後面部20Ｄ２には２本のミシン目Ｋ２が間隔をあけて縦向きに形成されており，第２後面部20Ｄ２は湾曲しやすくなっている。

【００５３】

上述した第１，第２，第３実施例と異なり，第４実施例では，円筒状のシュリンクフィルム41ではなく，平面状のフィルム42が接着剤Ｎによって台紙１Ｄの裏面に貼られており，前面部10Ｄにあけられた商品窓11Ｄの全体が平面状フィルム42によって覆われている。平面状フィルム42は，その上部が前面部10Ｄの商品窓11Ｄの上方の枠部に接着され，左右の側部のそれぞれが左右の折り片15Ｌ，15Ｒに接着され，下部が第２後面部20Ｄ２およびその両側の補強片25Ｌ，25Ｒに接着されている。折り線Ｌ２，Ｌ３，Ｌ４を跨ぐようにして左右の折り片15Ｌ，15Ｒ，ならびに第２後面部20Ｃ２およびその両側の補強片25Ｌ，25Ｒに至るまで平面状フィルム42を延在させておくことで，左右の折り片15Ｌ，15Ｒ，および第２後面部20Ｄ２を折り返したときに，商品窓11Ｄから外向きに突出する商品を覆う余裕分を平面状フィルム42に持たせることができる。

【００５４】

前面部10Ｄの裏面がわにおいて商品窓11Ｄの位置に商品53を配置する。折り線Ｌ３，Ｌ４に沿って左右の折り片15Ｌ，15Ｒを折り返し，さらに折り線Ｌ５，Ｌ６に沿って左右の補強片25Ｌ，25Ｒを折り返した状態で，折り線Ｌ２に沿って第２後面部20Ｄ２を折り返す。左右の折り片15Ｌ，15Ｒおよび補強片25Ｌ，25Ｒと第２後面部20Ｄ２とが重なり合い，重なり合った箇所が接着剤（図示略）によって適宜接着される。もちろん，上部を開口させた封筒貼りを先に形成し，上部開口から商品53を入れるようにしてもよい。

【００５５】

左右の折り片15，15Ｒ，および第２後面部20Ｄ２を折り返すときに，または封筒貼りの中に商品53を入れたときに，商品53は商品窓11Ｄを潜って前面部10Ｄの外に突出する。商品窓11Ｄを覆うように貼られた平面状フィルム42が商品53の正面にピッタリと貼り付き，商品窓11Ｄから外に突出する部分が平面状フィルム42によって覆われる。また，商品53によって押されることで，商品窓11Ｄの下部を閉じていた一対の脚部片33が前方に押し出される。脚部片33によって包装体を自立させることができる。

【００５６】

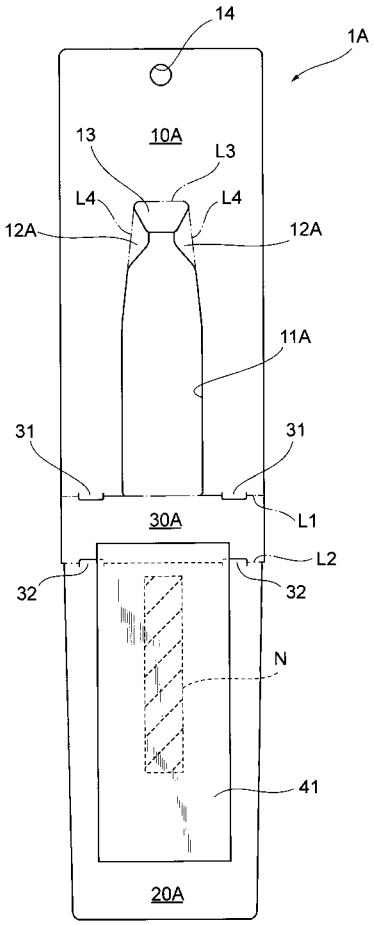
商品53を商品窓11Ｄに潜らせるとき，商品窓11Ｄの両側のせり出し部12Ｄが商品53によって前方に押される。前方に押し出されたせり出し部12Ｄを後方に押し込むことで，せり出し部12Ｄを商品53の裏側に潜らせる。最後に，前面部10Ｄの上縁に連設された第１後面部20Ｄ１を折り返し，差し込み片27を第２後面部20Ｄ２の裏側に差し込む（図１４参照）。台紙１Ｄにフィルム包装された商品53が固定された台紙付包装体の組立てが完成する。せり出し部12Ｄを商品53の裏側に潜らせることで，商品53を前面部10Ｄよりも前に大きく突出させることができ，商品53の全体を確認しやすい。

【符号の説明】

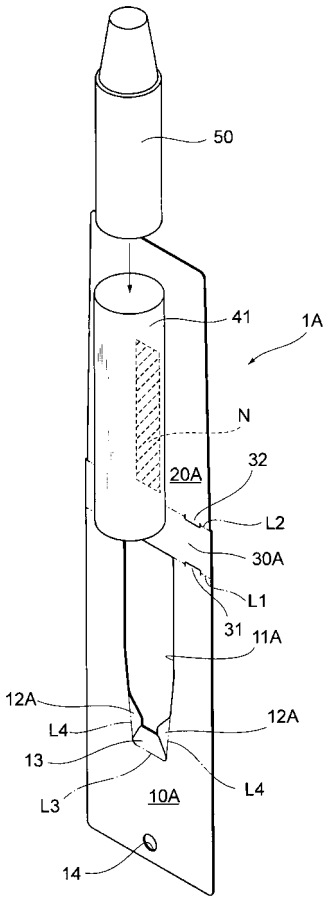
【００５７】

１Ａ，１Ｂ，１Ｃ，１Ｄ　台紙
10Ａ，10Ｂ，10Ｃ，10Ｄ　前面部
11Ａ，11Ｂ，11Ｃ，11Ｄ　商品窓
12Ａ，12Ｂ，12Ｃ，12Ｄ　せり出し片（せり出し部）
20Ａ，20Ｂ，20Ｃ，20Ｃ１，20Ｃ２，20Ｄ１，20Ｄ２　後面部
30Ａ　底面部
33　脚部片
50，51，52，53　商品
Ｎ　接着剤

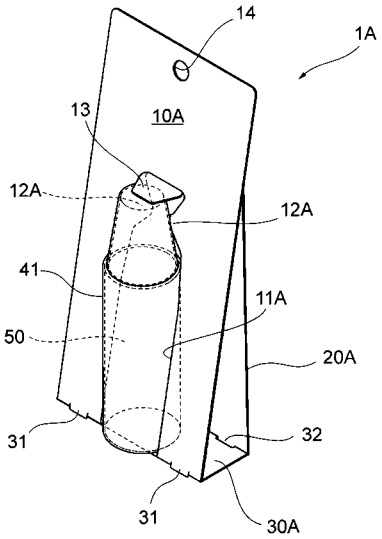
【図１】


14
1A
13
10A
L3
L4
L4
12A
12A
11A
31
31
30A
L1
L2
32
32
N
41
20A

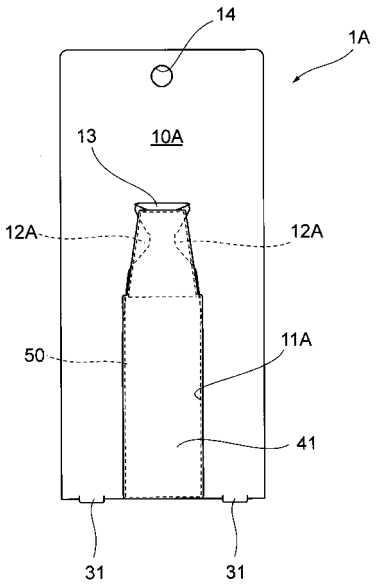
【図２】


50
41
1A
N
20A
32
L2
30A
L1
31
11A
12A
12A
L4
13
L3
10A
L4
14

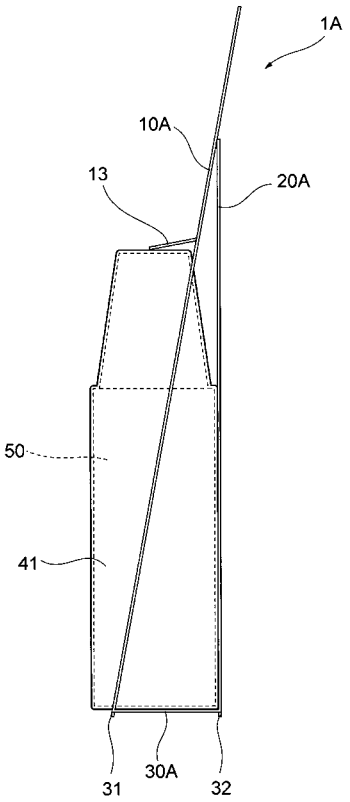
【図３】


14
1A
13
10A
12A
12A
41
11A
50
20A
31
32
31
30A

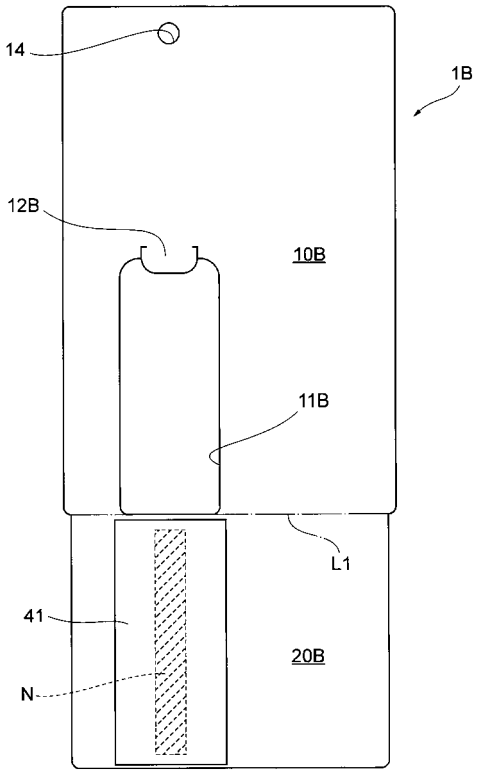
【図４】


14
1A
13
10A
12A
12A
50
11A
41
31
31

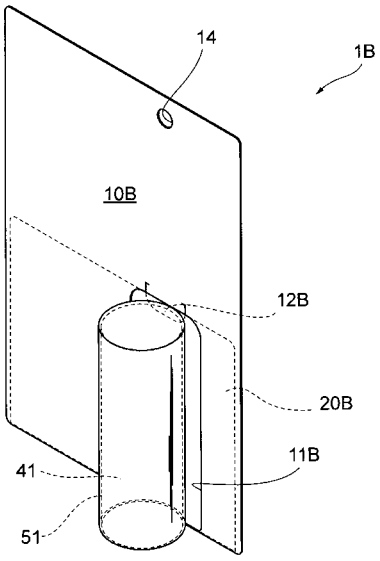
【図５】


1A
10A
13
20A
50
41
31
30A
32

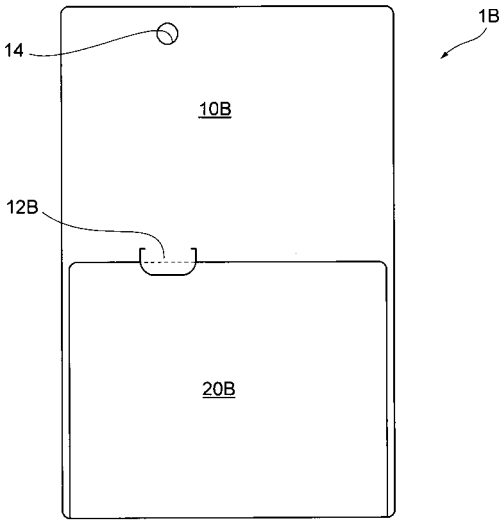
【図６】


14
1B
12B
10B
11B
L1
41
20B
N

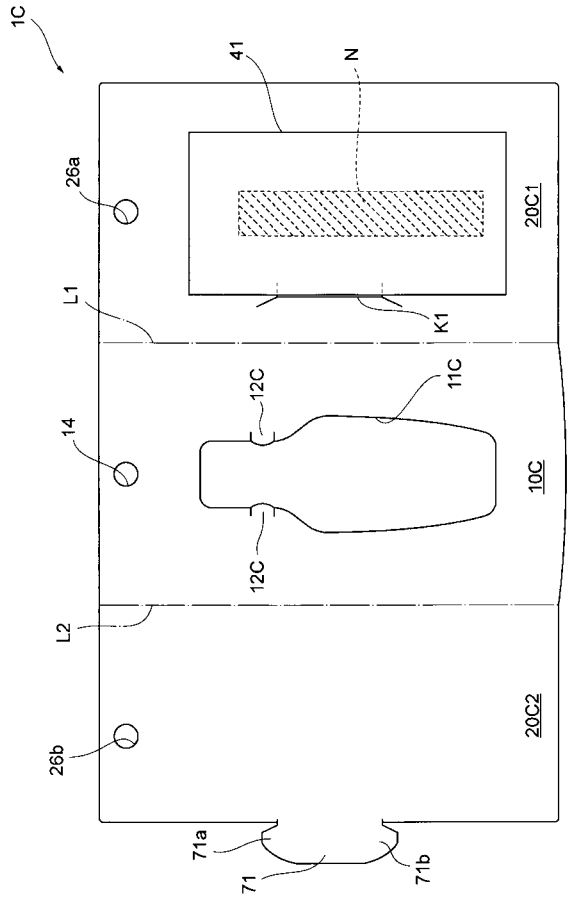
【図７】


14
1B
10B
12B
20B
11B
41
51

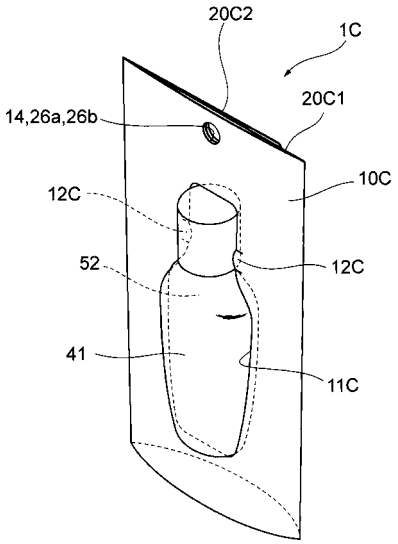
【図８】


14
1B
10B
12B
20B

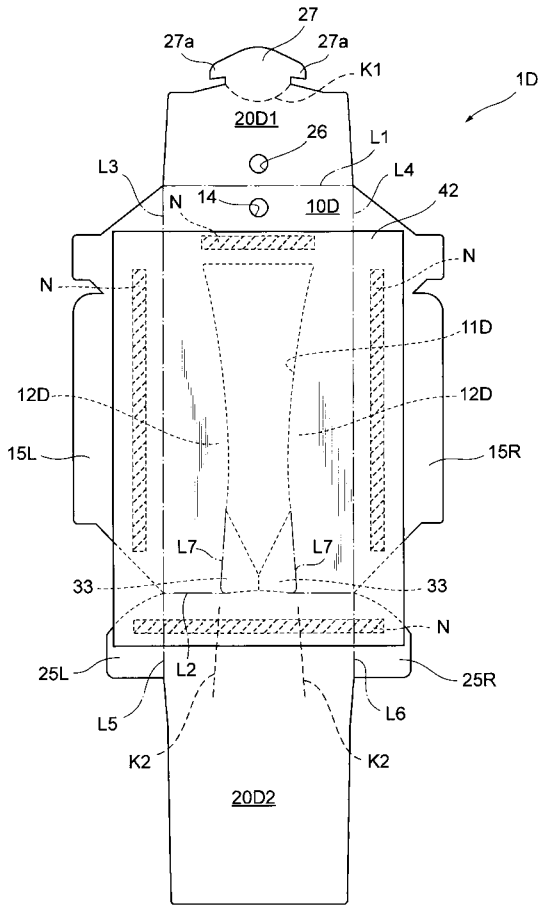
【図９】



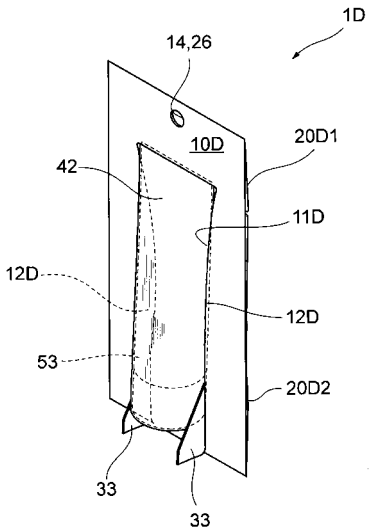
【図１０】



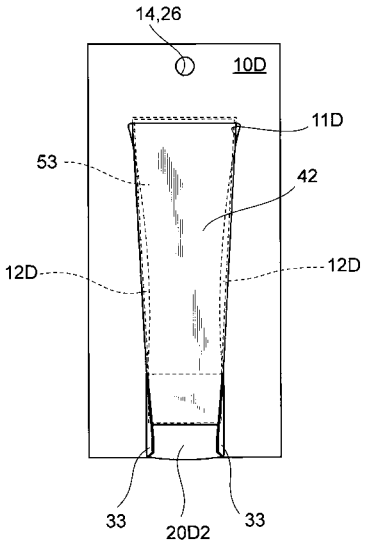
【図１１】



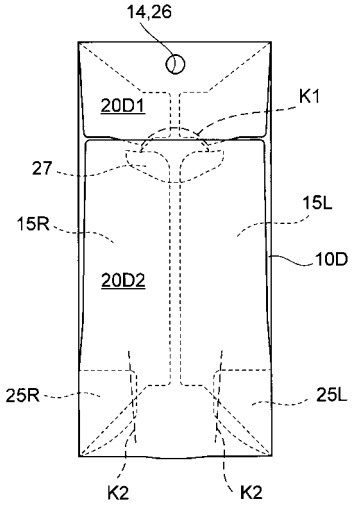
【図１２】



【図１３】


14,26
10D
11D
53
42
12D
12D
33
20D2
33

【図１４】


14,26
20D1
K1
27
15L
15R
10D
20D2
25R
25L
K2
K2